
ライフ

ゆいな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ライフ

【Nコード】
N9499X

【作者名】
ゆいな

【あらすじ】
中学校に入学して一週間。松下美加こと主人公は、中学校生活にも慣れないまま生活を送っていた。

ブログ的なもの（前書き）

初めての投稿なので

読みにくい箇所がいくつかあると思いますが
よかったらお読みください

プロローグ的なもの

私いや松下美加（まつしたみか）は、今年中学生になりました。

私の行ってる学校は田舎なのに生徒がたくさんいるんだけど、なぜだか男子に比べて女子がすごい少ない7：3ぐらい・・・。それに、たぶん学校の人に「松下美加って知ってる？」と聞いても、答えはきつとこうなる。「え？誰それ」

中学校や高校、小学校にも学年ごとにグループというものがある。

田舎の中学校にもあるんだから、ほかの学校にもきつとあるはず・・・。

入学してから1週間で私の学校にもグループが出来た。みんなはそれを1軍、2軍、3軍、に分けているらしい。説明すれば、1軍は可愛い子・かっこいい子で成り立っていて、2軍は可愛くもかっこいくもない子でなりたっていて、3軍はほとんど人と関わらない子・特定の子としか話さない人で成り立っている。私は、一応2軍に属している。かといって私は中学校生活に慣れず友達もできないまま毎日を過ごしていた。

運命を変える席替え

「あつやばつちごくするじゃん！」
私は、あわてて家を飛び出した。だって入学早々遅刻なんてありえないじゃん？

学校に着いた。ギリギリセーフだった。

(今日こそは一人くらい友達が出来ますよーに。)
私は、毎日このセリフを言いながら教室の戸をあけている。そして今日も……
ガラッ

「お……おは……」

「なんか言つた？松下さん。」
やっぱり聞こえてないみたいだった。教室も一軍の人たちのこえであふれていたかもしれない。

「え……あ……何にもないです……」
一週間たつてもまだクラスになじめません。だって女子が極端にすくないんです。こんな自分じゃ駄目ってわかつてる。わかつてるけど何も出来ない。

(あーあ、私だってみんなと仲良くしゃべりたいなあ……)

今日は、運命の席替え。

(よし、これにかけよう　女の子と近くなって、友達ができますよーに)

そして、私はくじを引いた。
あつ……

離れちゃったよ　なんでこうくじ運が悪いのかな？……

「邪魔。」

「えっ？」

「オマエ左側 オレ右側なんだけど。」

やってしまった。この人クラスのリーダー的存在のひとだあ!!

(なんか怖いなあ……。)

どうする……私……ここでめげちゃだめだよね!!

(ってなんか後ろからすごいしせんがあ……)

振り向いてみると、女子いや一軍の子がすごい目つきでこちらを見ていた。

(私何かしたかな?……)

数学の時間事件はおきた。

「この問題とけるやついるかあ？」

(えっなにこの問題すごい難しい……。)

「先生!松下さん解けるそうです!」

(えっなにいつてるの?そうさっきにらんでた桃山さんだあ……
やっぱりなにかしたかな?)

「おい松下わかるか？」

「えっ?はい……。」

何でアタシはいなんていったんだろう……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9499x/>

ライフ

2011年10月27日19時59分発行